

爪の疾患

陥入爪と巻き爪

皮膚科部長
伊豆 邦夫

皮膚の付属器である爪の疾患には色々と種類があります。日常診療で最も多い爪の疾患は爪白癬です。近年は強力な抗真菌剤の内服外用療法によってかなり治癒率が向上しています。次に多いのは陥入爪・巻き爪になります。爪は指先の保護作用だけでなく、感覚器官としても重要な役割があります。陥入爪・巻き爪に対して次々に新しい方法が開発されていますが、当科ではいくつかの治療を組み合わせる患者満足度の高い治療を行っています。

基本的には、1. 耐えがたい痛みを速やかにとる 2. 出来る限り手術に頼らない治療法で爪甲の矯正を行う 3. 爪本来の機能を取り戻すだけでなく、見た目の美しさも取り戻すをモットーに治療を行っています。もしも陥入爪・巻き爪の治療に難渋している症例がありましたら、是非当科をご紹介下さい。



陥入爪 : ingrown nail

爪甲側縁先端がその周囲組織を損傷する状態。
深爪、窮屈な靴などが原因になる。



巻き爪 : pincer nail

爪甲が過度に内側に湾曲し、爪甲が爪床部組織を挟んだ状態。
窮屈な靴などが原因になる。爪白癬も原因。

当院での陥入爪・巻き爪の治療法

爪矯正 アンカーテープ法
コットン・パッキング
ツメフラシリーズでの矯正

爪形成 人工爪・樹脂での形成
手術 フェノール法

爪矯正



巻き爪の症例（初診時）



爪を浸軟させ、ツメフラで修正



初診から2週間後の状態



側爪郭部に強い肉芽形成を生じている症例（初診時）



爪を一部カットし、ツメフラで修正



コットンパッキングを行いつつ爪を伸ばす

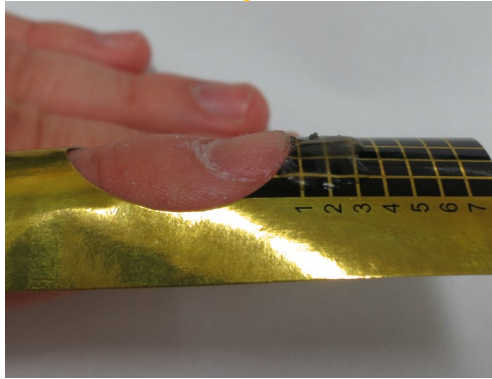


治癒時の爪の状態

爪 形 成



深爪の症例（初診時）



アクリル樹脂で爪を作成



出来たばかりの人工爪



形を整え、ヤスリで表面を削る



表面をコーティング（治療時間約30分）

皮膚科部長：伊豆 邦夫